

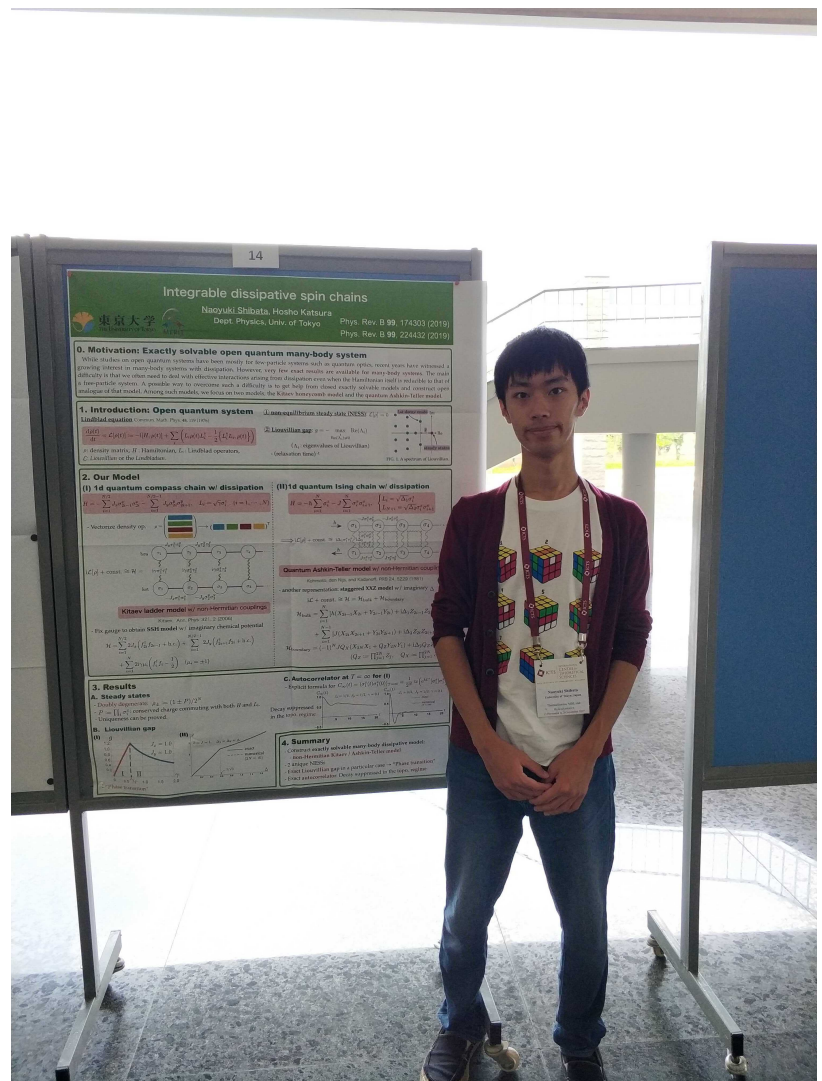
計算科学アライアンス 海外派遣報告書

理学系研究科物理学専攻
桂研究室 D1 柴田 直幸

2019年11月11日から22日にかけての2週間、計算科学アライアンスの海外派遣プログラムを利用して、インドの International Centre for Theoretical Sciences (ICTS) で開かれた国際研究会 ”Thermalization, Many Body Localization, and Hydrodynamics”に参加した。幅広い分野の研究者が集まり、連日に渡り非常に活発な議論が交わされていた本会議に参加できたことは、筆者にとっても大変有意義な経験になった。

筆者は、自身の2つの論文 PRB 99, 174303 (2019)と PRB 99, 224432 (2019)についてポスター発表を行った。発表の機会は毎日coffee breakの時間に与えられ、皆でコーヒーやチャイを楽しみながら発表したりディスカッションしたりと、非常に優雅で濃密な時間を過ごすことができた。特に、本研究のアイデアの出発点ともいえる先行研究の著者である Marko Žnidarič 氏に非常に面白い研究だと評していただき、ディスカッションもできたことは大変光栄だった。

また、様々な研究者によるバラエティに富んだトークはどれも刺激的で、色々と勉強になるとともに、大いに研究意欲が刺激された。吸収した



ポスター発表をする著者

アイデアを自身の中で消化して次の研究に活かしていきたい。

最後になりましたが、この渡航を支援してくださった計算科学アライアンスの海外派遣プログラムに御礼申し上げます。特に、事務手続きで大変お世話になった喜田様に、この場を借りて深く感謝致します。どうもありがとうございました。